

news
atom
ニュースアトム

TEPCO

柏崎刈羽原子力発電所

JANUARY
2025



- 新年のご挨拶
- 発電所の安全確保の一環として、自然災害に対する運用の整備を行っています [発電所の一員として]
- 2024年度新入社員の今 [おしえて!エコロン]
- 「東京電力フォーラム」を開催しました [発電所ニュース]
- サービスホール1月の催し

「朝の雪景色」
柏崎市高柳町山中

新年のご挨拶

柏崎刈羽原子力発電所長の稲垣武之です。

2024年はこれまでの取り組みの成果として、7号機において起動にあたっての技術的な準備が整うとともに、6号機についても本年6月を予定している燃料装荷までの工事工程の見通しを立てることができました。発電所で働く全ての皆さまに感謝申し上げます。

本年も発電所の安全性をより一層高めるために、「現場力」をキーワードに日々の取り組みを進めてまいります。

この「現場力」は様々な要素により培われるものですが、中でも「人身安全の確保」にこだわっていきたいと考えております。



昨年、人身災害が増加してしまったこともあり人身安全の確保は喫緊の課題と捉えています。人身災害がひとたび起きると、当事者のみならずご家族や関係者にも影響を及ぼすうえ、地域の皆さまにもご不安やご不信を抱かせてしまうものとなります。

発電所員に対しては、これまで以上に「自分の現場」に足繁く通い、作業の全プロセスを現場で働く皆さんと一緒に確認しながら、小さな気づきも共有、改善していくことを徹底し、人身災害などを未然に防いでいくよう、年頭の挨拶として伝えました。

「現場力」とそれを高めるための「人身安全の確保」、いずれも柏崎刈羽原子力発電所の目指す姿である「地域を愛し、地域に愛される発電所」、「発電所で働く全ての人が誇りを持って、笑顔で活き活きと働く発電所」に通じるものです。

その実現を果たすとともに、再稼働に向け尽力してまいりたいと考えております。

引き続き、地域の皆さまからのご意見は、しっかりと発電所の運営に活かしてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

● 個人の目標

2024年は12年ぶりに米山に登りました。2025年は「黒姫山」「八石山」にも登り、刈羽三山の登頂を目指します。

原子力・立地本部長の福田俊彦です。

本社機能を柏崎市内に移転するとともに、私が就任して柏崎市内に住み始めてから約2年半が経ちました。

2024年においても、発電所近傍にいることを活かし、積極的に発電所(現場)に足を運び、発電所の細かなトラブルや現場工事の進捗を自分の目で見て、肌で感じるように努めてまいりました。

移転してきた本社の社員も、発電所員と密にコミュニケーションをとりながら業務に取り組めており、就任当時に比べ、原子力部門全体の活気が満ちてきたように感じています。

また、休日も含めて地域のお祭りやイベント、そのあとの清掃活動などにも参加させていただいており、この地域の文化の素晴らしさを感じております。

新しい事務所の建設に向けて、柏崎エネルギーホールの解体も始まりました。長年地域の皆さまにご愛用いただいていた会議室などの施設は、新事務所においても1階部分をご利用いただけるようにする予定です。2026年度中の竣工を目指し、安全最優先で工事を進めてまいります。

2025年は、7号機だけでなく、6号機がしっかりと運転できるための準備を整えるとともに、緊急時対応の訓練などを積み上げ、その状況を地域の皆さまにご説明する様々な機会を設けていきたいと考えております。

また、今後においては、カーボンニュートラルの実現、デジタル化の進展に伴う電力需要の増加見込み、災害時における電力融通といったレジリエンス(対応力)強化の観点から柏崎刈羽原子力発電所は重要な役割を担うことになります。

このためには、発電所の安全性向上に一層取り組むことが重要であり、本社社員がしっかりと現場に寄り添い、現場重視の事業運営を行うことで、柏崎刈羽原子力発電所が地域の皆さまから愛され、信頼される発電所となれるよう取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

● 個人の目標

ジョギングが趣味のため、柏崎刈羽地域の3つの大会「柏崎潮風マラソン」「柏崎マラソン」「刈羽さわやかマラソン」に出場し、それぞれ10kmの完走を目指します。

また、新潟県内の色々な場所を探訪し、ご当地グルメを楽しみたいと思っています。





発電所の安全確保の一環として、 自然災害に対する運用の整備を行っています。

発電所では万が一の事故が発生した場合に備え、
電源車や消防車などの車両を
発電所構内の高台に配備しています。
自然災害が発生した際でも、
緊急時に使用する車両を必要な場所にスムーズに
移動できるように運用の整備を行っています。
今回は、自然災害に関して取り纏めを行っている
担当者2名に話を聞きました。

(2024年12月取材)

Profile

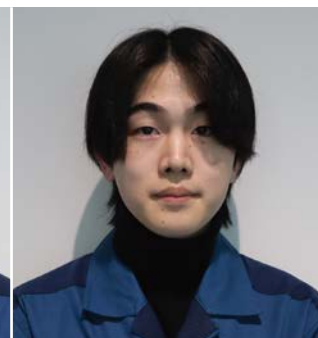
北原 史也

千葉県出身。柏崎市在住。2018年入社。本社で安全対策工事に係る国への申請書類の作成業務や他電力の応援などを経験し、現在に至る。
【休日の過ごし方】犬と一緒に過ごせるお店巡りや競馬観戦をしています。



東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
原子力安全センター 安全総括部
技術計画グループ

きたはら ふみや
北原 史也



原子力安全センター 安全総括部
技術計画グループ

あんどう みつき
安藤 光輝

安藤 光輝

福島県出身。柏崎市在住。2022年入社。新入社員研修を経て、現所属に配属。
【休日の過ごし方】週末は、妻と愛犬と過ごし、リフレッシュしています。

— 普段の業務内容を教えてください。

北原 火山の噴火、積雪、竜巻など様々な自然現象が発生した際の対応に関して技術的な検討及び所内での運用の整備などを担当しています。

安藤 主に屋外で発生する火災や、人体へ悪影響を及ぼす有毒ガスから発電所や運転員などを防護するための設計やそれに伴う法令遵守のために、技術的な検討や所内での運用の整備を担当しています。

— この時期、特に気になる積雪(除雪)について詳しく教えてください。

安藤 新潟県は雪国のため、冬場には除雪作業が必要な日が発生します。発電所構内の除雪は、出退勤や現場への移動に必要な道路の除雪以外にも、緊急時に用いる設備や消防車などの車両周り、さらにアクセスルート(緊急車両などが駐車場所から現場へ通行するための道路)も対象となります。除雪作業も広範囲にわたるため、その範囲をカバーするだけの除雪要員の確保が重要となります。



— 除雪要員の確保のために、どのようなことを行っているのですか？

北原 安全で効果的な除雪方法は、除雪対象となる設備やエリアの関係者との議論が必要です。このため、事務局である我々が関係者に呼びかけ、11月上旬に「除雪検討会議」を開催しています。昨年度までの除雪対応の経験や各関係者の中で新たに発生した課題を共有し、当年度の体制について協議・意思決定を図る会議となります。降雪のシーズンになると、大雪発生日や降雪量の予報

を基に、関係者に声をかけ「除雪判断会議」を開催します。この会議の中で除雪に必要な人数を決定し、除雪要員を確保します。降雪予報は日々変化することから、予報を適宜確認し、予測降雪量に変更があった場合は、必要人数を増減するなど柔軟かつ迅速に対応しています。



除雪判断会議

— 除雪は緊急時に使用する設備を管理している方で実施しているのでしょうか？

北原 各設備の積雪の状況は設備を管理しているグループで確認を実施していますが、除雪活動は、所内一丸となって実施する体制としています。除雪方法は実施場所によって異なります。アクセスルートは、地元の企業さまにご協力いただき除雪車にて広範囲を除雪してもらいます。一方、重要設備の上部や周囲は重機が利用できず手作業で実施しないとけないところもあります。また、除雪要員は万が一の事故の際に真っ先に出動する緊急時対応要員とは別で確保しなければなりません。降雪量が多い場合でも除雪要員が参集できるよう、必要に応じて除雪のため発電所内での仮泊を行っています。

— 柏崎刈羽原子力発電所で働く一員として地域の皆さまへメッセージをお願いします。

北原 自然現象が相手ですので検討が難しい部分も多々ありますが、地域の皆さまにご安心いただけるよう、安全最優先で日々の業務に取り組んでいきます。

安藤 大雪になった場合でも、発電所の除雪を適確に行い、緊急車両が速やかに移動できるよう業務に取り組んでいきます。

おしえて! エコロン



2024年5月号で紹介した新入社員が、発電所内の各グループへ配属されました。配属後の心境の変化やどのような姿勢で業務にあたっているのか、エコロンが話を聞きました。

ニュースアトム2024年
5月号はこちら



ながの ゆうき
永野 湧貴

- 所属：原子力安全センター 安全総括部 原子炉安全グループ
- 担当業務：リスク情報活用

丁寧に先輩から指導してもらいながら、日々勉強しています。様々な事象とリスクを日頃から想定し、思案を巡らせることの重要性を痛感しています。多くのことを自発的に吸収し、目の前の業務に責任感を持って取り組んでいきます。



たかはし ほだか
高橋 穂高

- 所属：原子力安全センター 放射線安全部 放射線安全グループ
- 担当業務：環境放射線管理

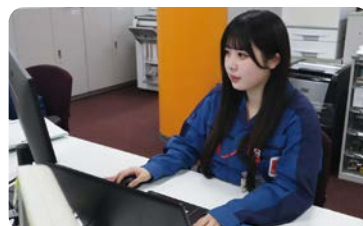
環境放射線を管理していくにあたり、必要な機器、放射線に関する知識を身に付けるため、勉強をしています。先輩方の動きをよく観察し、主体的に行動できるように心がけています。いち早く役に立つことができるよう、精一杯努力していきます。



たかはし ななみ
高橋 七海

- 所属：総務部 資材グループ
- 担当業務：工事契約・委託契約

配属当初は、契約業務に限らず、専門用語やパソコン操作にも苦戦しました。社内関係部署と地元の企業の皆さまからのご意見を伺いながら根気よく調整していきます。



やまだ だいき
山田 大葵

- 所属：第二保全部 安全施設工事プロジェクト(土木)グループ
- 担当業務：工事監理

配属前はどのような現場なのかイメージが付きませんでした。配属後は、先輩や多くの作業員の方々から現場のことを学んでいます。作業員の方々が、安全でスムーズに作業を進められるように、緊張感を持ち、日々の業務に取り組むとともに、経験と知識を増やしていきます。



「東京電力フォーラム」を開催しました

12月21日に長岡市において、県民の皆さまのご意見をお伺いし、エネルギーや放射線に関する知識、発電所の安全性などのご理解を深めていただくことを目的に、「東京電力フォーラム」を開催しました。サテライト会場も含め458名の方にご来場いただきました。

ご来場者からは、「地元に住む者として何となく原子力発電は不安である」といった声があった一方で、「エネルギー事情や放射線の知識が深まった」「屋内退避の有効性が良く分かった」といった声も多数いただきました。

引き続き、様々な場や手段を用いて、県民の皆さまのご意見をお伺いするとともに、発電所の状況や安全対策の取り組みなどについて、丁寧に説明してまいります。



発電所の取り組み状況のご説明



けちゃっぷ先生によるサイエンスショー

Webアンケートはこちら

添付のはがきの代わりに、Webからでもアンケートにご回答いただけます。右の二次元コードからアクセスしてください。発電所に対するご意見・ご要望もご記入いただけます。



発電所公式LINEアカウント

イベント情報やクーポンなどを毎月配信中!



発電所公式Instagram

発電所の日常や設備などの写真、リール動画を投稿しています!



❶ 発電所に対するご意見や改善点などがありましたらお聞かせください。

❷ 皆さまが発電所について知りたいことをお聞かせください。

❸ 当発電所のYouTubeチャンネルでどのような動画が見たいですか?

■ 読者プレゼントに応募する

ご希望の方は右の欄に○をお付けください。



Webアンケートでご応募いただくと、当選確率がUPします。

※裏面のお名前、年齢、ご住所、電話番号を必ずご記入ください。
なお、ご記入いただく内容については、お間違いのないようお願いいたします。

きりとり線
✂

サービスホール1月の催し

参加無料

工作教室

土・日・祝開催 9時～16時30分
※12時～13時を除く

毎月違った3種類の工作をご用意♪
難易度に合わせて、小さなお子さまでも
楽しくチャレンジできます。



カプセルライト



カプセルUFO



おにのでんでん太鼓



お問い合わせ／柏崎刈羽原子力発電所サービスホール TEL.0120-344-053(9時～17時)



料金受取人払郵便

郵便はがき

945-8790

柏崎局
承認

4062

柏崎市青山町16番地 46

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部 行

差出有効期間
2026年11月30日
まで

(切手不要)



ふりがな 年齢 歳

お名前 男・女・回答しない

〒 住所

電話番号

ご記入いただきました内容については、商品の発送、紙面づくり等に利用いたします。また、個人情報については適切に管理いたします。(2025年1月号)

きりとり線

東京電力ホールディングスYouTubeチャンネル

今月のおすすめ YouTube動画



柏崎刈羽原子力発電所の総務部社員に 一日密着! ~社員を支える仕事~

今回は、総務部社員に一日
密着しました!
日頃の様子について、是非
ご覧ください!



ニュースアトムは、発電所広報施設(サービスホール、カムフィ、き・な・せ)に配置しています。ご自由にお持ちください。また、発電所ホームページでもご覧いただけます。



■今月号の表紙/[朝の雪景色]

撮影場所: 柏崎市高柳町山中
撮影時期: 2024年1月



2025年1月12日発行

●編集発行責任者
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部
企画広報グループマネージャー
〒945-8601
柏崎市青山町16番地46
☎0120-120-448
(平日9時～17時)

《検索》

柏崎刈羽原子力発電所

